ガバナー月信











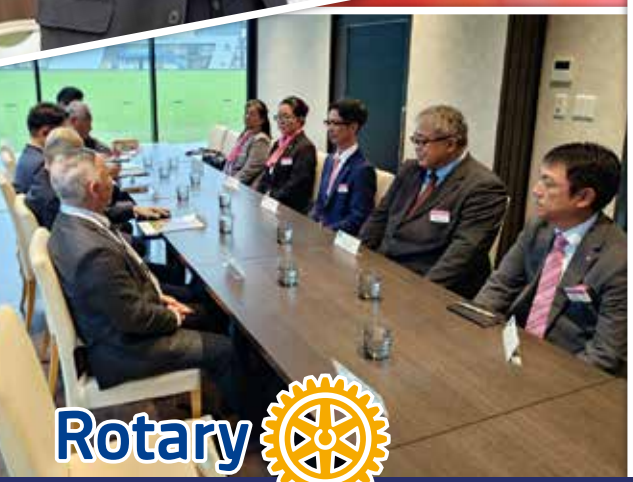














ガバナー月信
GOVERNOR'S
MONTHLY LETTER
NOVEMBER 2026
VOL.05
11

Rotary

ガバナーメッセージ



つながりを深め、
地域社会へ希望の光を灯す

国際ロータリー第2570地区
2026-2027年度 ガバナー

原 島 生 慈

■ 秩父RC

木々の葉も色づき始め、朝夕にはめっきり冷え込む季節となりました。会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素よりロータリー活動の推進に格別のご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

■公式訪問への感謝

各クラブへの公式訪問が、皆様の温かい歓迎と多大なるご協力をもちまして、無事に全日程を終了いたしました。訪問先では、各クラブが地域に根ざした素晴らしい奉仕活動を展開されている姿を直接拝見し、胸を打たれました。

限られた時間ではありましたが、クラブが抱える課題や未来に向けたビジョンについて率直な意見交換ができたことは、私にとってもかけがえのない財産です。ロータリーの基本は「クラブの活力」にあります。どのクラブも多様性を大切にしながら、会員増強や地域貢献に向けた前向きなエネルギーに満ちあふれていました。改めて、2570地区の底力を実感した次第です。この公式訪問で培った絆といただいた多くの気づきを、今後の地区運営全体にしっかりと活かしてまいります。

■いよいよ開催を迎える地区大会に向けて

そして11月21・22日は、本年度の活動の大きなハイライトである「地区大会」がいよいよ開催されます。日頃よりご準備に奔走してくださっている実行委員会の皆様、そして関係者の皆様の献身的なご尽力に、深く敬意を表します。

今回の地区大会は、単なる式典や報告の場ではありません。2570地区のすべてのロータリアンが一堂に会し、私たちが共有する「ロータリーの理想」を再確認し、互いの親睦を一層深めるための祭典です。今年度のテーマのもと、私たちが地域社会や世界に向けてどのようなインパクトを与えられるのか、未来のビジョンを共に描き、熱い想いを一つにする絶好の機会です。

日々直面する課題が多い現代社会において、私たちが手を取り合い、ロータリーの絆を通じて希望の光を灯し続けることの意義はますます高まっています。地区大会を通じて得たエネルギーを、それぞれのクラブへ持ち帰り、さらなる奉仕の原動力となることを心から期待しております。

つながりを深め、地域社会へ希望の光を灯す

■結びに

秋が深まり、これから冬支度へと向かう慌ただしい時期でもありますが、どうか体調管理には十分ご留意ください。

結びに、各クラブのますますのご発展と、すべてのロータリアン、そしてご家族の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げまして、11月のメッセージといたします。今月もどうぞよろしくお願い申し上げます。





ロータリー米山記念奨学委員会

米山梅吉記念館訪問 研修旅行

〈2026.9.27〉



ロータリー米山記念奨学委員会　統轄委員長
一柳達朗
■ 入間ＲＣ

2026年(令和8年)9月27日(日)に米山記念奨学委員会の行事の一つである「米山梅吉記念館訪問研修旅行」が行われました。今年の9月は毎日のように雨が降り天気が心配でしたが当日の朝は曇り空で雨は大丈夫でした。気温も高くなく一日を通して米山梅吉翁のお墓参りをするには良いコンディションとなりました。

ウエスタ川越でロータリアンと奨学生、そして学友が集まりました。今回学友9名を含む52名の参加を頂き恐らく過去最高の人数だったと思います。丸大トラベルサービスさんのバスはウエスタ川越を出発し関越道、そして圏央道と走り静岡県の長泉町にある「米山梅吉記念館」へ。バスの中では順番に自己紹介が行われました。名前、所属クラブ、出身国、近況報告などがされました。学友さんは先輩奨学生としてバスの中や各地で色々とサポートをして下さいました。

バスは定刻通り「米山梅吉記念館」に到着。記念館



ではショートムービーが放映されAIを使って中国語などの翻訳もありビックリしました。中国出身の奨学生は「問題なく聞くことが出来ます」と言っていました。現在は多言語にも挑戦しているそうです。その後2階に上がり梅吉翁の功績を案内人の市川氏がクイズも交え1つ1つ丁寧に説明下さり、奨学生達はパネルを見ながら真剣に聞いていました。2階に上がった階段の前には米山梅吉翁の肖像画がAIを使って話をするデジタル肖像画になっており口元や表情も動き、手も動きます。梅吉翁の実際の音声は残っておりませんが、お孫さんのご協力で声のデータを取り、その声を加工し「梅吉翁はこういう声だっただろう」と想像し親族ともやり取りし音声データとして取り込み作成したそうです。その後お墓参りへ。青空の元、順々にお線香をあげ墓石の前で一人ひとり手を合わせました。

集合写真を撮った後、バスは次の目的地、昼食処「うなぎ割烹御殿川」へ。ここでは美味しいうなぎ御膳を頂きました。お腹を満たした後はバスに乗り込み「佐野美術館」へ。期間限定で日本刀の展示がされており奨学生達は食い入る様に見ていました。国宝や重要文化財に指定されている物も多くあり見応えがありました。美術館見学後はそのままの足で近くの源兵衛川周辺を自由散策。綺麗な水面に心癒されながら散歩をしました。

帰りは若干渋滞にあいましたが途中でお土産を購入したり、バスの中では抽選会、そしてカラオケ大会などで盛り上がり、事故も怪我もなく戻ってきました。

今回の研修旅行で奨学生達は米山梅吉翁の功績など沢山勉強になったと思います。また、先輩である学友さんやロータリアンとも交流も深め、ここで学んだことや経験したことが学業や今後の人生に生かして頂けたら嬉しいです。



▲米山梅吉記念館にて



▼米山梅吉翁家墓参





▲源兵衛川自由散策

■米山研修旅行に同行して



米山奨学生カウンセラー　**清水純一**

■ 坂戸さつきＲＣ

9 月 27 日（日）米山記念奨学生、カウンセラー、ホームクラブ会長、米山学友会、地区役員、総勢 57 名で米山梅吉記念館見学、梅吉翁墓参を行った。
記念館では、座学、AI でよみがえった梅吉翁の肉声を聞き、梅吉の足跡を知りえた学生たちはあらためて、梅吉翁の「慈しみの心」を体感した。水の都・三島の散策、刀剣見学、三島名物「鰻」、バスのなかでは、米山梅吉氏にかかわるクイズなど盛りだくさんの一日。米山学友の丁寧なサポートは 2570 地区の伝統のバトンが確実につながれている証拠。そして、次の世代への絆は必ず、醸成されていくものと確信した。

米山奨学生の日々の生活はホームクラブとカウンセラーによって支えられています。
カウンセラーは自宅に奨学生を宿泊させるといったことはない。しかし、奨学生の悩みを聞いたり。日本文化を伝えるなど、奨学生活を支える大きな核となっている。
多くの奨学生を輩出した当地区には同じく多くのカウンセラーがいるということ。
カウンセラーの中には奨学生の結婚式に招待された人々も。奨学生時代のみならず、その関係は続いているとも聞く。あるクラブはなるべく入会まもない会員にカウンセラーを任命すると聞く。ロータリー活動の理解への扉を開くよいチャンスでもあるからだ。
米山記念奨学会は日本独自のプログラムであり、ロータリーアンの善意で成り立っている。寄付をするにしても「米山奨学生」の活動と理解があってこそ。地区のロータリーアンの皆さまご協力お願いいたします。

第5グループ東

原島ガバナー公式訪問
吹上ロータリークラブ

レンタルスペース吹上

9月1日(火)



会長
上岡常浩



幹事
遠藤裕幸

9月1日に原島ガバナーに公式訪問して頂きました。原島ガバナーには、例会前の懇談で、行政の狭間（吹上は鴻巣市に合併し、鴻巣は2770地区）に有り、少人数ながらも奉仕の理念に燃えている我がクラブ員の話をしっかり聞き受け止めて下さりました。例会卓話では「ロータリー活動に誇りを」という事で、我々に沢山のアドバイスを下さり、私たちに取って大変参考になるサジェスチョンをして下さいました。当クラブは、30年以上続いた福島県への少年キャンプに代わる新しい事業を、地域他団体との共同事業として立ち上げるべく鋭意努力しています。共同事業が立ち上がる迄の奉仕活動として年3回のEND POLIO NOWキャンペーンを行っています。今後もご指導を宜しくお願い致します。末筆ながら谷山ガバナー補佐に御指導頂き有難うございました。





第5グループ東　ガバナー補佐
谷山　誠（加須RC）

吹上RCは、1979年3月に34名の会員で発足し、最盛時には44名を記録した。

この間、地域への奉仕活動に積極的に取り組み、特に青少年の育成の為の「サマーキャンプ」を立ち上げ、これが基で金山町と吹上町（現鴻巣市）との友好都市締結に至っている。

しかし2005年吹上町が鴻巣市へ吸収合併されると、地域の関心は吹上から鴻巣へと徐々に移行し、地域各団体は徐々に消え失せ、併せて吹上RCへの関心も低くなり、会員が減少するようになった。

「サマーキャンプ」活動は活発に行ってきたが、青少年数の減少から参加者が徐々に減少し、特にコロナ感染症発症以降、団体活動も停止され、コロナ感染の危惧が無くなった現在でもこの活動は再開出来ていない。

「サマーキャンプ」に代わる社会奉仕活動の目玉として、(地域他団体との)「吹上千本さくら」の(寿命と害虫による枯渇からの)植替え活動に着目し、その準備に勤しんでいるが、未だ活動開始に至っていない。当面は、地域の三大祭りにおいて「END POLIO NOW」をアピールし、寄付へのご協力を訴えると共に「吹上RC」を広報している。



第1グループ北

9月2日（水）

原島ガバナー公式訪問
坂戸さつきロータリークラブ

アルカーサル迎賓館川越



会長
鈴木　宏



幹事
野口浩之

鈴木宏会長の１か月の療養期間と重なり、会長の想いを笠間益伸副会長（会長代行）、野口浩之幹事を筆頭に全会員が胸にして臨みました。

ロータリーネクスト世代・５０代の内田達浩会員、キビキビ・てきぱきＳＡＡで例会は進行。原島ガバナーの胸をうつ情熱あふれる卓話で、あらためて「ロータリー活動に誇り」を感じた時間となりました。

笠間会長代行は「JCからロータリーに入会する４０代、親クラブの坂戸RC会長が『鼓吹』と語彙を使い、『奥が深い団体だ』。と感じた。あの時から３６年、原島ガバナーの『ロータリーの奉仕は究極の自己投資』という表現、新鮮に響きました」と。クラブ協議会では活発な議論で交わされました。（文責　幹事　野口浩之）





第１グループ北　ガバナー補佐
神田　茂（東松山むさし RC）

鈴木宏会長は、活動方針として『楽しく変革！』を掲げられました。「会員が多いクラブではありませんから、メンバー全員で協力して足りないところを補い合い、変革に向け、クラブが抱える問題を一歩でも先に進められるように尽力していきたい。」と語られました。

持病を押しての会長就任とのこと、お体に気を付けながら、クラブの強さである「全員協力」のもと、『楽しく変革！』していただきたいと思います。



米山記念奨学生になって

鄭 珂琦　テイ カキ
中国・黒龍江省（東洋大学）

ロータリー米山記念奨学生になってから、約４か月が経ちました。この４か月間で、大学での勉強だけでは得られない多くの経験をすることができました。例会やCLLSなど、さまざまなロータリー活動に参加する中で、普段の大学生活では出会うことのできなかった多くの素晴らしい方々と交流する機会が増えました。

最初は少し緊張していましたが、世話クラブの皆様がいつも温かく声をかけてくださり、少しずつ自分から話せるようになりました。特に、カウンセラーの清水様には、細やかなところまでいつも気にかけていただきました。最初のオリエンテーションの翌日に全国交通安全運動へ誘っていただき、その際にヘルメットまで用意してくださったことや、最近はクラブ紹介で私の情報をホームページに掲載してくださったこと、とても嬉しく、心に残っています。

日本に来て４年、一人暮らしを続けてきましたが、坂戸さつきロータリークラブの皆様と出会い、日本でも家族のように温かく感じられる居場所ができたことを嬉しく思います。これからもこのご縁を大切にしていきたいです。

原島ガバナー公式訪問
東松山・東松山むさし ロータリークラブ

第1グループ北

9月 10日（木）

紫雲閣

第１グループ北 ガバナー補佐



会長
白江龍三



幹事
飯島　徹

東松山ロータリークラブ



会長
笠原徳之



幹事
瀧澤　浩

東松山むさしロータリークラブ



神田　茂
（東松山むさし RC）

9 月 10 日、東松山ロータリークラブと東松山むさしロータリークラブは、原島生慈ガバナーをお迎えし、合同で公式訪問例会を開催しました。ガバナーからは、地区スローガン「ロータリー活動に誇りを！」に込めた思いと、会員が居心地よく活動できるクラブづくり、地域に必要とされる奉仕についてお話をいただきました。ポリオ根絶への支援や次世代育成など、地区が力を入れる活動についても理解を深めました。クラブ協議会では「ロータリー活動に誇りを持てた経験」をテーマに、両クラブの会員が自身の体験と思いを分かち合いました。親睦や奉仕の中にある喜びを改めて確かめ、仲間とともに活動を続けていく意欲を新たにした一日となりました。



東松山ロータリークラブ

建築士である白江龍三会長は、次の２つを指針として掲げておられます。

⑴ 生業（ビジネス）と密接な、奉仕のあり方を考え、実践しよう。

⑵ 生業の実践の中で、地球環境のことも考えてみよう。

「ロータリーでの学びを生業に生かし、環境対策を通じ、自社に持続可能なインパクトをもたらし、その繁栄と地域貢献を通じ、ロータリー活動に誇りを持てる１年にしていく。」と語られています。

環境保護は、ロータリーの７つの重点分野の一つであり、財団の使命でもあります。建築士の立場からの環境保護の視点が、楽しみです。Ｍｙ　Ｒｏｔａｒｙ登録率１００％の模範クラブです。

東松山むさしロータリークラブ

笠原徳之会長は、「『笑顔と親睦、つなげよう奉仕のバトンを』をテーマに掲げ、良き伝統（バトン）を未来へと受け継ぐため、次の３つの柱に沿って、誇りと笑顔の溢れるクラブ運営を進めます。」と語られました。

活動方針（３つの柱）

⑴ 次世代に引き継ぐ（誇れる奉仕のバトン）

⑵ 笑顔で奉仕・楽しく親睦（メリハリある例会と、笑顔のストーリーの可視化）

⑶ 明るく増員（最高の仲間と誇りを分かち合う）

多彩な奉仕活動を行っているクラブが、笑顔と親睦で溢れるよう、笠原会長のリーダーシップに期待します。

第2グループ

9月 15日（火）

原島ガバナー公式訪問
朝霞ロータリークラブ

埼玉りそな銀行 朝霞支店3F



会長
飯田　豊



幹事
栗原　忍

朝霞 RC では 9 月 1 5 日（火）原島ガバナーに公式訪問いただきました。ガバナー卓話では、原島ガバナーが掲げる地区テーマ「ロータリー活動に誇りを！」についてたいへん分かりやすく解説されました。

卓話の後行われたクラブ協議会では「ロータリー活動に誇りを持てた経験」について、3 名の発表がありました。入会 2 年目の橋本会員、親睦活動委員長と会員増強委員長の要職につくクラブ理事。地域社会に奉仕・まごころ運ぶ運送業をロータリー精神で運営しています。入会 6 年目の池田会員からは、小学生の頃からガバナー補佐を勤めた父親の元、ロータリーを一生の友愛の場、学びと奉仕の場としてきました。3 人目は自らの意思で入会しロータリーの奉仕の扉を開いた入会 20 年 5 ヶ月の荒木会員。

3 人の発表を受け、他会員からも経験談が披露され、たいへん有意義なクラブ協議会となりました。

原島ガバナーご訪問お疲れ様でした。ありがとうございました。

朝霞 RC 幹事・栗原忍





第 2 グループ　ガバナー補佐
松岡昌宏（新座 RC）

朝霞ロータリークラブは、浦和北 RC をスポンサークラブとして 1963.10 月に創立され第 2 グループでも最古参のクラブです。現在会員数は 22 名会員増強に注力されております。

主だった事業としては、地元少年野球大会の公園、フードドライブ事業として毎年、市役所社協、銀行団、地元企業等と協力して余剰食材を集積し、「NPO 法人子供ネット」を通じ市内に会場を設け、子供他事に配布するという取り組みです。子供の貧困問題に注目した取り組みと思われます。



第1グループ南

9月 17日（木）

原島ガバナー公式訪問
川越小江戸・川越西 ロータリークラブ

川越プリンスホテル

川越小江戸ロータリークラブ



会長
福山健朗



幹事
野口 早百合

川越西ロータリークラブ



会長
久保田 徹



幹事
肥沼靖久

入会３年未満の会員との懇談は原島ガバナーの軽快な談話を皮切りに終始和やかに進み、川越小江戸・川越西、合同 13 名程度の人数は当初ガバナーのご負担にならないかとスタイルの工夫を思案していたのですが、心配をよそに一人一人への配慮や意見に対しての的確な回答を長時間に亘り最後まで続けられた姿勢に改めて敬意を表します。卓話に於きましても力強く本年度のガバナーメッセージと丁寧な解説を最後まで続けられ、卓話後の協議会では「ロータリーに誇りを持てた経験」をテーマに会員相互が活発な意見を交換し、代表者発表を終えた頃にはガバナーの掲げる「誇りを胸に持続可能なインパクトを」目指す全会員の機運醸成が図られたと感じ得た有意義な公式訪問となりました。









第１グループ南
ガバナー補佐
大谷龍之
（川越小江戸 RC）



川越小江戸ロータリークラブ

川越小江戸ロータリークラブは少人数ながら、会員の絆を力に、できる限りの奉仕活動を続けてこられたクラブです。2026-2027 年度は、5 度目の会長を務める福山健朗会長のもと、会長テーマ「Create a club overflowing with dream and hope Ⅱ（夢と希望にあふれているクラブを作ろうⅡ）」を掲げ、会員増強と若手会員との協力を通じて、さらなる前進を目指しておられます。「少人数でも力を合わせればこれだけのことができる」という自負のもと、今年度は青少年交換にも力を注いでおられます。「楽しくなければロータリーではない」を信条に、親睦と奉仕を両立させる意欲的な一年が期待されるクラブです。

川越西ロータリークラブ

川越西ロータリークラブは、近年急速な会員増強を実現し、女性会員も多く活躍する活気あるクラブです。2026-2027 年度は久保田徹会長のもと、「持続可能なクラブ運営とロータリアン育成を！」を掲げ、5 つの重点目標に取り組んでおられます。3 年計画の総括と新たな目標設定、変えるべきものと守るべきものの見極め、入会 3 年未満メンバーの育成、会員増強を活かした「入って良かったロータリー」と思える土壌づくり、そして公共イメージ向上に資する社会奉仕の推進など、多角的な視点でクラブの発展を目指しておられます。増強と持続可能性を両立させる先進的な運営が期待されるクラブです。



米山記念奨学生になって

ファン・マイ・ヌ・クィン

ベトナム（西武文理大学）

川越小江戸ロータリークラブの米山奨学生、ファン・マイ・ヌ・クィンと申します。ベトナムから日本へ留学し、西武文理大学でサービス経営を学んでいます。米山奨学生になってからの 4 か月間、例会や交流会などに参加し、これまであまり話す機会のなかった世代の方々ともお話しするようになりました。最初は日本語で話すことに少し緊張しましたが、皆様が気さくに話しかけてくださるので、今では会うと自然にお話しできるようになりました。一緒に食事をしたり、いろいろなお話を聞いたりする時間も、私にとって楽しみになっています。日本で生活していると、学校以外で日本の方とゆっくり話す機会は意外と少ないので、このような時間を持てることを嬉しく思います。これからも皆様との時間を楽しみながら、このご縁を大切にしていきたいです。



米山記念奨学生になって

張 君諾 チョウ クンダク

中国・江蘇省 （大東文化大学）

最近、大学院の研究で、自分自身が被験者となって予備実験を行いました。実際に体験してみると想像以上に大変で、「これを他の被験者の方々が最後まで無事にできるだろうか」と少し不安にもなりました。しかし、自分で経験したからこそ、実験のどこを修正すればよいのかが見えてきました。行き詰まっていたところから、また新しい道が見えてきたような気持ちです。

また、11 月 7 日のクラシックフィジーク大会に向けて、私自身も減量を始めました。毎日ほぼ同じ食事をして、トレーニングと有酸素運動を続けています。同じことの繰り返しで少し退屈に感じる日もありますが、自分の身体が少しずつ変わっていくのを見ると、それもまた面白いと感じます。

そして、毎回の例会にもできるだけ出席しています。私はもともと大勢の前で話すことがあまり得意ではありません。そのため、例会を自分の苦手なところを少しずつ改善する機会にもしたいと思っています。私にとって例会は、単に奨学金をいただくための場ではなく、皆さんと交流できる大切な時間です。皆さんもいつも親切に話しかけてくださり、筋トレや健康的な食事など、身近な話題についても楽しくお話ししています。これからも研究、競技、そして米山での交流を通して、少しずつ成長していきたいと思います。

地区大会記念 チャリティーゴルフ

155名の参加!!



多くの皆さまの
ご協力ありがとうございました。

2026−2027年度
ロータリー財団地区補助事業プロジェクト

思いやり傘



無料レンタル傘で公共イメージアップ

地区財団補助金事業として坂戸さつきロータリークラブでは坂戸市制施行５０周年記念事業にあわせて坂戸駅自由通路に「無料レンタル傘」を設置した。本数は３００本。透明傘に国際ロータリーのロゴを印刷。

鈴木宏会長は「突然の雨に困った駅利用者様にロータリーの思いやりの心を伝えたい。また傘をさすことでロータリーマークがあちこちで見ることができる、それを想像するだけでもワクワクしますね」と語っていた。



国際ロータリー 第2570地区
2027年 ロータリー国際大会 バルセロナ7日間の旅

旅行期間:2027年 6月 25日 (金)~ 7月1日(木)



新会員紹介 New Member Introduction



本山賢太郎
(川越西RC)

入 2026年10月7日
勤 本山法律事務所
役 代表
生 1973年8月31日
紹 肥沼靖久



糸賀　淳
(富士見RC)

入 2026年8月28日
勤 ㈱富士見グリーンガーデン
役 代表取締役
生 1976年5月17日
紹 長根章浩・島田敏郎



鶴田　紳
(所沢RC)

入 2026年10月6日
勤 ㈱ティーイング
役 代表取締役
生 1980年1月15日
紹 日向貴一・二上昌弘



見寺泰司
(所沢RC)

入 2026年10月6日
勤 西武建設㈱ 関東支店
役 支店長
生 1970年4月11日
紹 日向貴一・平岩敏和



柴崎陽子
(深谷RC)

入 2026年8月18日
勤 柴崎保険サービス㈱
役 代表取締役
生 1975年9月23日
紹 小内睦夫



竹内　功
(深谷RC)

入 2026年8月18日
勤 (有)I&T
役 取締役
生 1971年9月12日
紹 新 道行



齊藤律雄
(深谷RC)

入 2026年8月18日
勤 (名)齊藤商店
役 代表社員
生 1973年5月5日
紹 小内睦夫



根岸友美
(本庄RC)

入 2026年9月3日
勤 ㈱ハピネスライフ
役 代表取締役
生 1972年8月29日
紹 中谷嘉宏・小林和江

表彰 Award Collection

PHF ポール・ハリス・フェロー
MPHF マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
PHS ポール・ハリス・ソサエティ
BF ベネファクター
MD メジャードナー
米山 米山功労者
米山M 米山功労者マルチプル
米山MD 米山功労者メジャードナー

米山M ×3



長根章浩
（富士見RC）

米山 ×1



加治秀之
（富士見RC）

米山 ×1



塩野雄一郎
（富士見RC）

米山M ×2



羽石貴裕
（富士見RC）

PHF ×1



深井紀美子
（所沢西RC）

MPHF ×8



内田　学
（所沢西RC）

MPHF ×1



本橋源太郎
（所沢西RC）

米山MD ×11



山本正幸
（行田RC）

米山M ×7



大野年司
（行田RC）

米山M ×4



清水龍男
（行田RC）

米山MD ×10



齊藤恭一
（行田RC）

米山 ×1



坂本研一
（行田RC）

2570地区 公式サイト
https://rid2570.gr.jp/

会員数

【2026年9月】

グループ	クラブ名	会員数 2026年度初め	2026年9月末	対年初増減	女性会員 2026年9月末	MyRC登録率%
第1南	川越	100	102	2	5	50
	川越小江戸	14	14	0	2	50
	川越西	37	38	1	7	71
	川越中央	21	22	1	0	36
第1北	東松山	19	20	1	1	30
	坂戸	33	34	1	1	30
	越生毛呂	7	7	0	1	1
	鶴ヶ島	32	32	0	2	60
	坂戸さつき	20	20	0	4	60
	東松山むさし	35	35	0	3	37
小計		318	324	6	26	43
第2	朝霞	22	22	0	2	50
	志木	49	50	1	4	56
	富士見	36	37	1	0	46
	新座	31	31	0	3	23
小計		138	140	2	9	44
第3西	入間	39	39	0	2	46
	飯能	66	72	6	2	42
	日高	23	23	0	4	43
	新狭山	10	10	0	0	90
	入間南	45	47	2	1	42
	狭山中央	18	18	0	5	44
第3東	所沢	67	67	0	6	32
	新所沢	18	19	1	2	63
	所沢西	38	40	2	4	31
	所沢東	47	48	1	2	30
小計		371	383	12	28	46
第4東	深谷	59	62	3	14	40
	岡部	20	20	0	2	70
	深谷東	70	71	1	0	35
	深谷ノース	30	30	0	5	48
第4西	本庄	111	112	1	13	31
	秩父	52	54	2	1	50
	寄居	31	32	1	1	66
	皆野・長瀞	7	7	0	0	29
小計		380	388	8	36	46
第5西	熊谷	95	95	0	2	49
	熊谷籠原	26	26	0	0	41
	熊谷南	26	26	0	2	62
第5東	行田	52	53	1	5	19
	羽生	37	41	4	4	22
	加須	22	22	0	1	13
	行田さくら	47	47	0	4	67
	吹上	5	5	0	0	80
小計		310	315	5	18	44
地区	合計	1,517	1,550	33	117	42

スケジュール

11月 November

1（日）	財団 End Polio Now スリーデーマーチ参加 (3年未満ラーニング共催)
7（土）	RLI part Ⅱ
21（土）	地区大会（秩父）
22（日）	地区大会（秩父） 青少年第3回オリエンテーション
28（土）	川越75周年
29（日）	いるまローターアクトクラブ認証式

12月 December

1（火）	ロータリー研究会（大阪）
2（水）	ロータリー研究会（大阪）
3（木）	ロータリー研究会（大阪）
4（金）	ロータリー研究会（大阪）
13（日）	青少年第4回オリエンテーション
19（土）	RLI part Ⅲ
20（日）	第2回カウンセラー会議 米山クリスマス会

ガバナー月信 11月号　2026-2027年度　Vol.5
2026年11月10日発行

国際ロータリー第2570地区　地区事務所
〒355-0028　埼玉県東松山市箭弓町2丁目5番14号
ガーデンホテル紫雲閣内
[TEL] 0493-21-2570　[FAX] 0493-21-2571
[mail] d-office@mail.rid2570.gr.jp
[Web] https://rid2570.gr.jp

[ガバナー月信編集委員会] 委員長：井上　豊　副委員長：金子展明
委員：宮前　勉　浅見　徹　橋本和也